

(1) システム検討チーム(渋川リーダー説明)

「会館の必要性と建設の目的」について、資料に基づき説明。4月の各自治会総会で承認されたものは、「会館の必要性」「建設の目的」ともに、自治会活動中心に記載されていたが、地域住民の活動の場であることを前面に出して修正した。さらに「建設の7つのコンセプトと設計での配慮」を新たに記載した。

- 意見**
- ・ 「会館の必要性」の理由で、つくし野センターの利用率が高いので、予約に苦労しているというネガティブな印象だけでなく、少子高齢化の中で求められる新たな活動の場を生み出す場にするというのも入れたらどうか。
 - ・ 「自治会館でできること」として、わかりやすい親しみやすい表現で、列挙したらどうか。「お泊りに関すること」「ランチを食べながらの集まり」「お茶会をしながら」「会議イベント後での懇親会」など、約20ぐらいの例を提示。
 - ・ センターがあるのになぜ作るのかという意見が根強い。利用者の競合を心配する声もある。センターと共存共栄していくという考え方にしたほうがいい。

3 その他

(1) 農事センター跡地に防災倉庫を設置する件—各自治会の検討状況

3丁目、4丁目は了解された。1.2丁目は会館建設が十分理解されておらず否決される可能性がある。2丁目は会館建設に一部で危惧があるので、倉庫も保留。

鶴養委員長コメント：

急いで進めても、反対されてとん挫したら二度と立ち上げられない。十分な意見を聞いて理解を得ていくことが大切。無理ならば事業計画申請をさらに伸ばすことも考えられる。

4 次回委員会日程 : 9月26日(水) 17時半～ つくし野コミュニティセンター